

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	鹿島市立七浦小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>○学力向上では、3、4年生の算数TT授業を始め、長期休業前の算数子屋の取組、家庭学習強化週間を行った。また算数科の校内研究を実施し、教職員全体で算数の授業の流れを共通理解し実践を行った。その成果もあり、県学習状況調査やCRT検査で県平均にほとんどの学年が達することができた。</p> <p>○心の教育に関しては、いじめアンケートや2回のQ-Uアンケート実施と調査分析を行い、未然防止に努めてきたことで、昨年度よりいじめ件数が減少した。縦割り活動の充実や、人権週間の取組等を行い、児童が自己肯定感が高められるような支援を行った。ほとんどの児童は、楽しく学校生活を送れているが、それ以外の子どもたちや不登校傾向にある児童への支援については、外部の機関との連携をさらに深めていく必要がある。</p> <p>○地域とともにある学校を目指し、学校運営協議会が発足した。今年度は地域の方の支援を受けるだけでなく、七浦道の駅の車の車体の絵を全児童で作成し、地域に貢献することができた。来年度は児童が地域の一人としての意識を高めるために行事の一端を担う機会（例：町民運動会参加のよびかけなど）を設けるようにしていく。</p> <p>○業務改善、教職員の働き方改革の推進については、年休取得が増えるなど、年々成果が見られるようになったが、時間外勤務時間に個人差が見られる。外部講師の効果的な活用や他業務の効率化を図る等、働き方改革の視点から業務を改善することが課題である。</p>
---------------	--

2 学校教育目標	一人一人の子供の個性を磨き、しなやかにたくましく生きる子どもの育成を図る
----------	--------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ●主体的・対話的で深い学びを実現させる魅力的な授業づくり【教職員の資質向上・実践授業研究】 ●児童一人ひとりに響く心の教育の充実【道徳教育、心の海PJ】 ○自主的な運営力とたくましい心身の育成【学びの里PJ・体の嶺PJ】 ●ふるさと「七浦」を愛する心の育成【SDGs・体験学習・地域連携】
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上にする。	・共通実践について、校内研修や授業研究会等、定期的を確認する。 ・マイプランについて、校内研修や授業研究会等で定期的振り返り機会を持つ。							研究主任 学力向上対策コーディネーター
	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践(鹿島の「学びスタイル」)	○家庭学習に取り組む児童の割合を95%以上にする。 ○児童アンケートで授業が楽しいと回答する児童の割合を80%以上にする。	・年間3回、家庭学習強化週間を実施し、保護者と協力し家庭学習の定着に取り組む。 ・分かる板書を計画し、書く事を通して「分かる」「できる」授業づくりに取り組む。							研究主任 学力向上対策コーディネーター 学びの里P
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童アンケートで80%以上の児童が「相手がいやがることをしない、言わない」の項目で肯定的な回答をする。	・他者を思いやる心を育てるために、生徒指導や道徳の授業を通して、自己肯定感を育む言葉のつかい方や表現に気を付けるような取り組みを行う。							心の海プロジェクト
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・心のとびらアンケートやQ-U、1日観察日等をもとに、担任による個人面談を行い、いじめの早期発見に努める。 ・職員会議等を通して職員間で情報交換を行い、組織的に対応する。							教育相談担当
●健康・体づくり	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・全学年キャリアパスポートを使い、学期や行事など節目にふりかえる機会をもつ。 ・「チャレンジすること」や「夢・目標をもつこと」が自分を成長させるということを日々の生活や集会などで機会をとりながら継続して伝えていく。							道徳推進教諭
	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上(1日あたり1時間以上)	・縦割り活動やスポーツチャレンジに全校児童を取り組ませ、外遊びの習慣をつけさせる。保健指導と連携し、運動する良さを全校に広める。 ・体育的行事をPJメンバーを中心に計画的に取り組む、児童の活躍の場を設定する。							体の嶺プロジェクト
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	②「安全に関する資質・能力の育成」(学校独自重点取組・任意)	②児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○学期に1回程度「避難訓練」を実施する。	・「交通安全教室」を実施し、踏切や横断歩道のわたり方、自転車の乗り方やマナー等を身に付けさせるようにする。 ・PTAや地域と連携し登下校の安全を守る。 ・年に1回、引き渡し訓練を実施する。							心の海プロジェクト
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。(月45時間) ○職員の時間外勤務を月平均25時間以内にする ○年休取得日数12日以上を目指す。 ○定時退勤日を各職員が設定する。	・定時退勤日を設定し、時間外勤務の削減を図る。 ・年次有給休暇を昨年度以上に取るように声をかける。 ・先を見通し、業務を計画的に進めていくように随時声をかける。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域と連携した教育活動の推進	○開かれた学校作り ○地域の人材や教育資源を活用した体験活動・SDGsに関する取り組みの充実	○学校運営協議会を年3回開催し、それぞれの意見や評価をもとに、地域やPTA、学校が協働することで双方向の連携を行う ○「学校は保護者・地域と連携しながら教育を行っている」と考える保護者80%以上	・学校長の経営方針や方策、教育カリキュラムに基づいた七っ子サポート隊を活用した取り組みを学校便りやHP等で保護者や地域に紹介する。 ・児童が地域の行事に参加することを奨励する。また、生活科や総合的な学習を中心に地域を生かした学習を進める。 ・職員間の情報共有とケース会議の実施 ・特別支援に関する研修会、巡回相談の実施 ・個別の支援計画、個別の指導計画の確実な作成と保護者との共有							教頭 指導教諭
○特別支援教育の充実	○教員の専門性、意識の向上と児童一人一人のニーズに応える教育の推進	○定期的に支援を必要とする児童の共通理解をする(職員会議に位置づける) ○特別支援に関する専門性が向上したと答える職員85%以上	・職員間の情報共有とケース会議の実施 ・特別支援に関する研修会、巡回相談の実施 ・個別の支援計画、個別の指導計画の確実な作成と保護者との共有							特別支援担当
○ICT利活用の推進	○一人一台端末やICT機器を活用した授業や家庭学習の推進	○一人一台端末やICT機器を使う機会が増えたと答える職員90%以上	・前期と後期に1回ずつICT推進リーダーが主となり、実践的な研修を行う。 ・児童がタブレット持ち帰ることができるように環境整備を行う。							ICT推進リーダー

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--